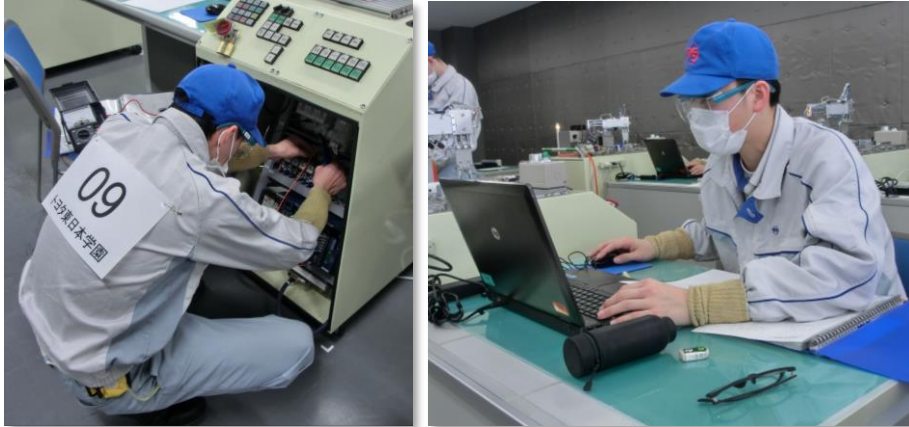


◆ 技能照査実技試験 2班 7日(木)1班 8日(金)

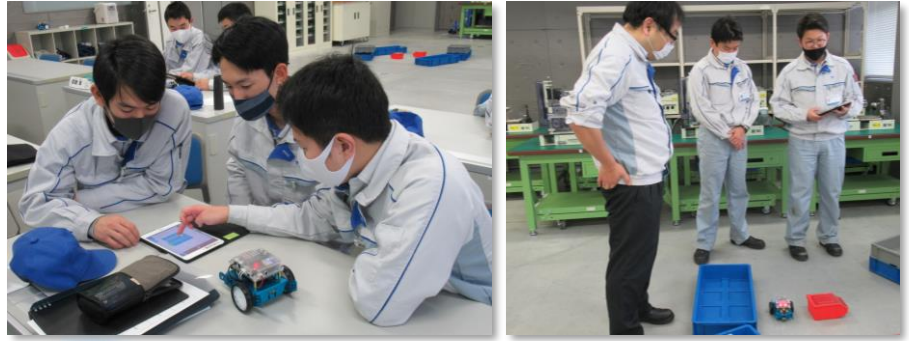
技能照査とは、職業能力開発促進法第21条の規定に基づき行われる公的な試験であり、訓練生にとっては卒業試験。合格すると県知事より技能照査合格証書が交付され「技能士補」の称号が与えられます。合格発表は県の審査後3月2日の予定。



1年間学んできたことを公的に評価されることから皆緊張感をもって各課題に取り組みました。

◆ 12日(火) AI教育とプログラミング体験学習

TPS推進部AI推進GによるAI教育とプログラミング体験をおこないました。実際の工場でのAI活用事例等を紹介していただき、AIが身近なものになってきていることを実感。プログラミング体験では、ロボットカーをプログラミングして障害物をよけて走行させる課題に挑戦しました。



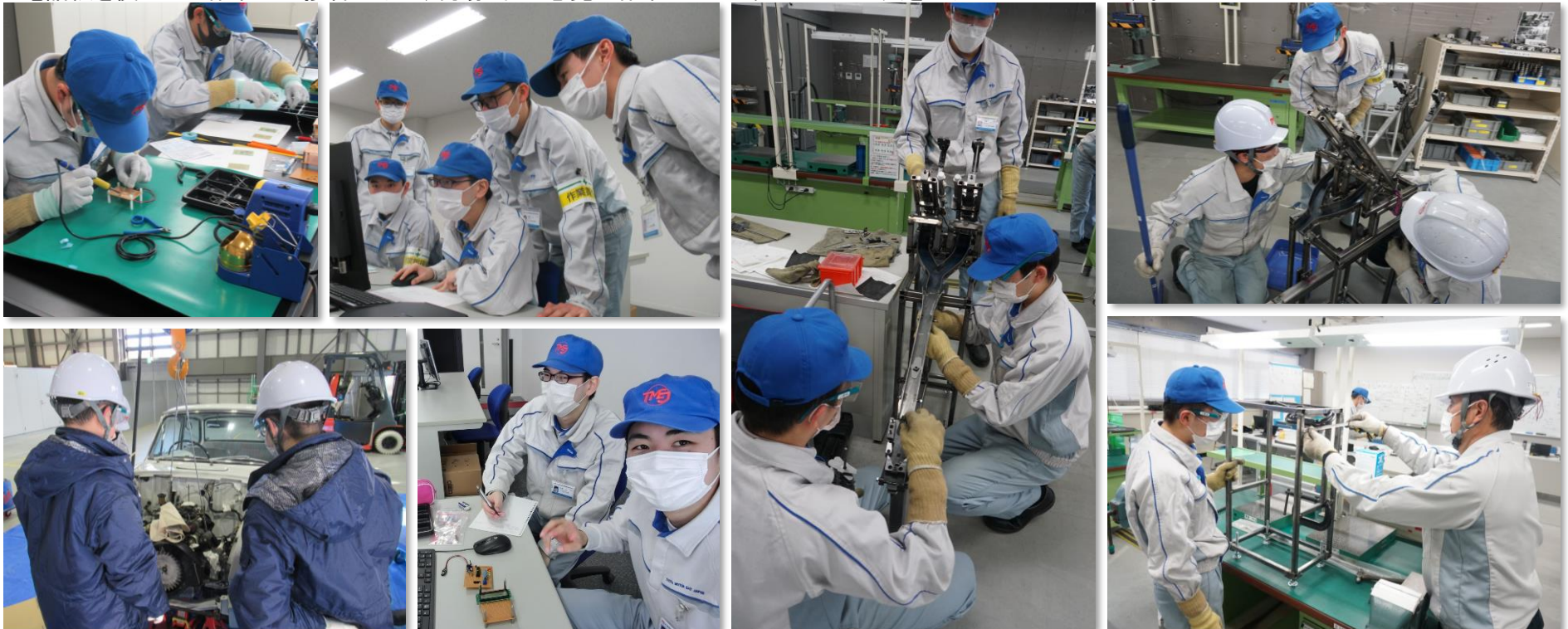
■ K・Y君

AI教育をしていただき、AIやプログラミングは難しいという固定概念が無くなりました。AIなどの先進技術を扱うことができる人材になりたいと思いました。



◆ 卒業研究 1月11日～2月19日

本年度のテーマは、会社の動向を参考に「ものづくり」、「工程改善」、「電子・マイコン」、「先進技術」の4テーマ。走行不能なパブリカの整備や、岩手工場の工程改善、マイコンを使った計測装置の製作、画像や音声認識などを活動の中心にし、TMC、花壇自動車大学校、TPS推進部TPSG、AI推進G、プロジェクトF等の様々な方々の協力のもと、1年間学んできたことを実践すべく課題に挑戦しています。活動は、各作業毎の4RKY、午前と午後の安全巡視、電話帳を使つての作業の進捗管理など、現場と同じ感覚で作業できるように色々工夫をしながら進めています。



エンジンのしくみや電子回路など、インターネットを活用して、まずは自分達で調査。

工程改善は分からないことばかり、先輩達から一つでも多くのノウハウを学び取ります。

■ S・O君 (工程改善チームリーダー)

活動の中で、現場での作業を実際に体験し、工具の使い方や作業のコツなど、今まで以上に実践的な知識や技能を学ぶ事が出来ています。



パブリカのエンジン、キャブの整備には花壇自動車大学校のプロによる指導を受けました。

◆ 28日(木) 宮内社長による授業参観

領域社長報告で、学園生が卒業研究に取り組んでいるところを見ていただきました。



「苦勞してやっと動いた時は嬉しかっただろう。」と温かい言葉をかけていただきました